

科目名	ワープロ			担当教員	中村 剛康	常勤・非	非常勤	実務経験	有
対象学年	1年	対象学科	環境情報システム学科 環境情報オフィス学科			履修時間	60		
実務経験	行政書士事務所 行政書士 個人情報保護士								
学修内容	Word 2019の操作について、MOS試験に準じた知識・技術を習得する。								
到達目標	後期に実施するMOS Wordに合格することを目指す。								
授業の方法	『よくわかる Word2019&Excel2019』、『よくわかる マスター-MOS Word2019対策&テキスト問題集』を使用しMOSの問題演習をこなしていく								
成績の評価と基準	MOS試験結果と課題進捗状況、出席状況等を総合的に判断して評価する。								
授業計画	1. Word2019 さあはじめよう 2. Word2019 文書を作成しよう 3. Word2019 グラフィック機能を使ってみよう 4. Word2019 表のある文書を作成しよう 5. 文書の作成と管理 6. 文字、段落、セクションの書式設定 7. 表やリストの作成 8. 参考資料の作成と管理 9. グラフィック要素の挿入と書式設定 10. 模擬試験演習 11. 模擬試験演習 12. 模擬試験演習 13. 模擬試験演習 14. 模擬試験演習 15. 模擬試験演習								
使用教材等	よくわかる Word2016&Excel2016 FOM出版 よくわかる マスター-MOS Word2016対策&テキスト問題集 FOM出版								
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	表計算			担当教員	中村 剛康	常勤・非	非常勤	実務経験	有
対象学年	1年	対象学科	環境情報システム学科 環境情報オフィス学科			履修時間	60		
実務経験	行政書士事務所 行政書士 個人情報保護士								
学修内容	Excel 2019の操作について、MOS試験に準じた知識・技術を習得する。								
到達目標	後期に実施するMOS Excel 2019に合格することを目指す。								
授業の方法	『よくわかる Word2019&Excel2019』、『よくわかる マスター-MOS Excel2019対策&テキスト問題集』を使用しMOSの問題演習をこなしていく								
成績の評価と基準	MOS試験結果と課題進捗状況、出席状況等を総合的に判断(筆記試験：70%・出席：30%)して評価する。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Excel2019 さあはじめよう</li> <li>2. Excel2019 データを入力しよう</li> <li>3. Excel2019 表を作成しよう</li> <li>4. Excel2019 グラフを作成しよう</li> <li>5. Excel2019 データを分析しよう</li> <li>6. アプリ間でデータを共有しよう</li> <li>7. ワークシートやブックの作成と管理</li> <li>8. セルやセル範囲のデータの管理</li> <li>9. テーブルの作成</li> <li>10. 数式や関数を使用した演算の実行</li> <li>11. グラフやオブジェクトの作成</li> <li>12. 模擬試験演習</li> <li>13. 模擬試験演習</li> <li>14. 模擬試験演習</li> <li>15. 模擬試験演習</li> </ol>								
使用教材等	よくわかる Word2019&Excel2019 FOM出版 よくわかる マスター-MOS Excel2019対策&テキスト問題集 FOM出版								
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	EUC			担当教員	中村 剛康	常勤・非	非常勤	実務経験	有
対象学年	2年	対象学科	環境情報システム学科 環境情報オフィス学科	コース	環境マネジメントコース 情報プロフェッショナルコース ビジネスコース	履修時間	60		
実務経験	行政書士事務所 行政書士 個人情報保護士								
学修内容	マイクロソフト社のWord及びExcelを使って、文書作成及び表計算処理の基礎に加え応用技術を学ぶ。								
到達目標	MOS Word2019 Expert 及び MOS Excel2019 Expertの取得を目指す								
授業の方法	テキストを使った講義と、パソコンを使った演習を行う。								
成績の評価と基準	MOS試験、実習状況および出席状況を総合的に判断（MOS試験：50％・実習：30％・出席：20％）して評価する。								
授業計画	(Word) 1. 文書のオプション 1. 文書の設定の管理 3. 高度な機能を使用した文書のデザイン 4. 高度な機能を使用した参考資料の作成 5. ユーザ設定のWord要素の作成 (Excel) 6. ブックのオプションと設定の管理 7. ユーザ定義の表示形式やレイアウトの適用 8. 高度な機能を使用した数式の作成 9. 高度な機能を使用したグラフやテーブルの作成 10. 模擬試験プログラムの使い方 11. ～15. 模擬試験								
使用教材等	よくわかるマスター MOS Word2019 Expert 対策テキスト&問題集				FOM出版				
	よくわかるマスター MOS Excel2019 Expert 対策テキスト&問題集				FOM出版				
履修上の留意点・他	1年次の「ワープロ」及び「表計算」を履修済みであること								

科目名	個人情報保護			担当教員	中村 剛康	常勤・非	非常勤	実務経験	有
対象学年	2年	対象学科	環境情報システム学科 環境情報オフィス学科			履修時間	60		
実務経験	行政書士事務所 行政書士 個人情報保護士								
学修内容	個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）と 個人情報保護マネジメントシステム（JIS Q 15001:2017）について学ぶ								
到達目標	個人情報に関するインシデントについての新聞報道などの記事からリスクと是正策を考えられるようになる。								
授業の方法	個人情報保護委員会（ <a href="https://www.ppc.go.jp">https://www.ppc.go.jp</a> ）に掲載されている関連法規、啓発資料を活用する。								
成績の評価 と基準	個人情報保護法、個人情報保護マネジメントシステムに規定された用語、安全管理策及び内部監査の目的、及びマネジメントレビューが理解できていることを、グループ討議やレポートの内容で判断する。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. マネジメントシステムとプロセスアプローチを理解する。</li> <li>2. 個人情報保護とは（個人情報保護法の目的と社会環境について）</li> <li>3. 個人情報とプライバシーについて</li> <li>4. 個人情報のライフサイクル（取得・利用・保管・提供・開示請求・廃棄）について</li> <li>5. 個人情報の特定について</li> <li>6. 個人情報の利用目的について</li> <li>7. 個人情報の取得・利用・保管について</li> <li>8. 個人情報のインシデントについて</li> <li>9. 個人データの提供及びオプトアウトとオプトインについて</li> <li>10. 保有個人情報の開示請求・廃棄について</li> <li>11. 個人情報保護マネジメントシステム（JIS Q 15001:2017）の仕組みについて</li> <li>12. 個人情報の取扱に関する注意事項</li> <li>13. 日常生活における注意点をリスク分析してみよう</li> <li>14. もし、個人情報の漏洩が身の回りで起きてしまったら</li> <li>15. 自分の個人情報保護方針を作成してみよう</li> </ol>								
使用教材等	「個人情報保護委員会ホームページ」に掲載されている記事、「個人情報保護法と企業法務（民事法研究会）」、「個人情報保護法」と「関連法規」と「JIS Q 15001:2017」などを参照しながら講義用の資料を作成する。								
履修上の 留意点・他	法改正やガイドラインの更新について、個人情報保護委員会ホームページから情報収集を随時行い、講義に反映させるようにする。								

科目名	プレゼンテーション			担当教員	中村 剛康	常勤・非	非常勤	実務経験	有
対象学年	2年	対象学科	環境情報システム学科 環境情報オフィス学科	コース	環境マネジメントコース 情報プロフェッショナルコース ITビジネスコース	履修時間	30		
実務経験	行政書士事務所 行政書士 個人情報保護士								
学修内容	マイクロソフト社のPowerPointを使って、プレゼンテーションコンテンツ作成の基礎を学ぶ。								
到達目標	PowerPointを使ってプレゼンテーション資料作成の基礎知識を得ると共にMOS PowerPoint 2016取得を目指す								
授業の方法	テキストを使った講義と、パソコンを使った演習を行う。								
成績の評価と基準	MOS試験、実習状況および出席状況を総合的に判断（MOS試験：50％・実習：30％・出席：20％）して評価する。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習の進め方</li> <li>2. プレゼンテーションの作成</li> <li>3. プレゼンテーションの管理</li> <li>4. テキスト、図形、画像の挿入</li> </ol>								
使用教材等	MOS PowerPoint2016 対策テキスト & 問題集				FOM出版				
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	情報処理 A			担当教員	濱田 秀二	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	1年	対象学科	環境情報システム学科			履修時間	120		
実務経験	情報系企業                      ネットワーク関連業務 電子制御系企業              プロセス制御部門   通信制御システム開発								
学修内容	情報処理技術者試験の「基本情報技術者試験」のシラバスに基づき、情報処理の基礎を学ぶ。								
到達目標	基本情報技術者試験の午前免除制度に合格することを目指す。								
授業の方法	テキストを使った講義と、各章が終わった時の小テストおよび過去問題集による演習を行う。								
成績の評価と基準	期末の筆記試験、午前免除試験、各小テストおよび出席状況を総合的に判断（筆記試験：80%・出席：20%）して評価する。								
授業計画	1. ハードウェア 2. 情報システム 3. ソフトウェア 4. データベース 5. ネットワーク 6. セキュリティ 7. データ構造とアルゴリズム 8. 企業と法務 9. 経営戦略 10. 情報システム戦略 11. 開発技術 12. プロジェクトマネジメント 13. サービスマネジメント 14. システム監査と内部統制 15. 過去問題演習								
使用教材等	ITワールド                      株式会社インフォテック・サーブ IT戦略とマネジメント        株式会社インフォテック・サーブ								
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	情報処理B			担当教員	竹添 芳典	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	1年	対象学科	環境情報オフィス学科			履修時間	120		
実務経験	情報系企業 医療情報システム部門 システム開発 S E 医療機関 医事課業務								
学修内容	情報処理試験対策問題を通してコンピュータの基礎を学ぶ。								
到達目標	ITパスポート試験に合格することを目指す。								
授業の方法	テキストや過去問題集、問題演習プリントを使い、受験対策を行う。								
成績の評価と基準	期末の筆記試験、および出席状況を総合的に判断(筆記試験：70%・出席：30%)して評価する。								
授業計画	1. 基礎理論 2. 基礎理論 3. 基礎理論 4. 基礎理論 5. コンピュータシステム 6. 技術要素 7. 開発技術 8. プロジェクトマネジメント 9. サービスマネジメント 10. 問題演習 11. 問題演習 12. 問題演習 13. 問題演習 14. 問題演習 15. 問題演習								
使用教材等	かんたん合格 ITパスポート教科書 インプレス かんたん合格 ITパスポート過去問題集 インプレス 問題演習プリント等								
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	Webデザイン			担当教員	濱田 秀二	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	1年	対象学科	環境情報システム学科 環境情報オフィス学科			履修時間	30		
実務経験	情報系企業                      ネットワーク関連業務 電子制御系企業                プロセス制御部門    通信制御システム開発								
学修内容	ウェブサイトを作成するための基本的なHTMLとCSSのプログラミングを学ぶ。								
到達目標	HTMLやCSSを使って、基本的なウェブサイトの構築ができるようになることを目指す。								
授業の方法	テキストを使った講義と、ブラウザを使ってプログラミング演習を行う。								
成績の評価と基準	期末の筆記試験や実習課題、および出席状況を総合的に判断（筆記試験：50％・課題：30％・出席：20％）して評価する。								
授業計画	1. ウェブページについて 2. HTMLの基本 3. ウェブページを作る 4. サブページを作る 5. CSSの基本 6. CSSでレイアウト 7. テキストのデザイン 8. 挿入、景、枠線を付ける 9. モバイル・SNS対応して公開 10. JavaScriptの基本 11. ～15. 課題作品制作								
使用教材等	デザインの学校 これからはじめる HTML & CSS の本                      技術評論社								
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	プログラム入門			担当教員	濱田 秀二	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	1年	対象学科	環境情報システム学科			履修時間	90		
実務経験	情報系企業                      ネットワーク関連業務 電子制御系企業                  プロセス制御部門    通信制御システム開発								
学修内容	高級プログラミング言語のC言語を使って、コンピュータプログラミングの基礎を学ぶ。								
到達目標	C言語を使って、基本的なプログラミングできるようになることを目指す。								
授業の方法	テキストを使った講義と、Microsoft Visual Studioを使ってプログラミング演習を行う。								
成績の評価と基準	期末の筆記試験、および出席状況を総合的に判断（筆記試験：80%・出席：20%）して評価する。								
授業計画	1. C言語の基本 2. データの入力と出力 3. プログラミングの基本構造 4. 関数 5. 配列 6. ポインタ 7. データ型変換と記憶クラス 8. プリプロセッサ 9. 構造体と共用体 10. 標準関数 11. ファイル入出力 12. マクロと記憶クラス 13. 計算アルゴリズム 14. 整列アルゴリズム 15. データ探索アルゴリズム								
使用教材等	Cプログラミング                      株式会社インフォテック・サーブ プリント								
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	プログラム基礎			担当教員	濱田 秀二	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	1年	対象学科	環境情報システム学科			履修時間	90		
実務経験	情報系企業                      ネットワーク関連業務 電子制御系企業                  プロセス制御部門    通信制御システム開発								
学修内容	与えられた課題を学生自分で考えてC言語のプログラムを作成していく。								
到達目標	C言語を使ったプログラミング技術（デバッグ、統合開発環境の理解）を身につけ、自力でプログラミングできるようになることを目指す。								
授業の方法	与えられた課題を、まず各自で考えプログラミングし、講義で不明点や注意項目等の開設をして学生の解決能力の強化を図る。								
成績の評価と基準	期末の筆記試験、および出席状況を総合的に判断（筆記試験：80%・出席：20%）して評価する。								
授業計画	1. 合計・最大・最小の計算 2. 合計・最大・最小の計算（配列を使って） 3. 合計・最大・最小の計算（関数を使って） 4. データの並べ替え 5. データの並べ替え（ポインタで） 6. 線形探索 7. 2分探索 8. 度数分布（ファイル入力） 9. 再起呼び出し 10. Sinカーブ 11. リスト処理（表示） 12. リスト処理（探索） 13. リスト処理（削除） 14. リスト処理（追加） 15. YesNo問題								
使用教材等	プリント								
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	データベース			担当教員	濱田 秀二	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	2年	対象学科	環境情報システム学科 環境情報オフィス学科	コース	環境マネジメントコース 情報プロフェッショナルコース IT/デジタルコース	履修時間	60		
実務経験	情報系企業 ネットワーク関連業務 電子制御系企業 プロセス制御部門 通信制御システム開発								
学修内容	マイクロソフト社のAccessを使って、データベースの作成・操作の基礎を学ぶ。								
到達目標	Accessを使ってデータベース作成・操作の基礎知識を得ると共にMOS Access 2016取得を目指す								
授業の方法	テキストを使った講義と、パソコンを使った演習を行う。								
成績の評価と基準	MOS試験、実習状況および出席状況を総合的に判断（MOS試験：50％・実習：30％・出席：20％）して評価する。								
授業計画	1. 学習の進め方 2. データベースの作成 3. データベースの管理 4. テーブルの作成 5. テーブル内レコードの管理 6. クエリの作成 7. クエリ内で集計やグループ化を行う 8. フォームを作成 9. フォームの書式設定 10. レポートの作成 11. レポートの書式設定 12. ～15. 模擬試験問題								
使用教材等	MOS Access2016 対策テキスト & 問題集				FOM出版				
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	情報処理応用			担当教員	濱田 秀二	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	2年	対象学科	環境情報システム学科	コース	情報プロフェッショナルコース	履修時間	60		
実務経験	情報系企業 ネットワーク関連業務 電子制御系企業 プロセス制御部門 通信制御システム開発								
学修内容	情報処理技術者試験の「ITパスポート試験」および「基本情報技術試験」の合格を目指し、過去問題の演習を行う								
到達目標	情報処理技術者試験の「ITパスポート試験」および「基本情報技術試験」の合格を目指す								
授業の方法	過去問題集による演習を行う。								
成績の評価と基準	期末の筆記試験、情報処理技術者試験、および出席状況を総合的に判断（筆記試験：70％・出席：30％）して評価する。								
授業計画	1. 令和元年度 過去問題（秋期） 2. 平成31年度 過去問題（春期） 3. 平成30年度 過去問題（秋期） 4. 平成30年度 過去問題（春期） 5. 平成29年度 過去問題（秋期） 6. 平成29年度 過去問題（春期） 7. 平成28年度 過去問題（秋期） 8. 平成28年度 過去問題（春期） 9. 平成27年度 過去問題（秋期） 10. 平成27年度 過去問題（春期） 11. 平成26年度 過去問題（秋期） 12. 平成26年度 過去問題（春期） 13. 平成25年度 過去問題（秋期） 14. 平成25年度 過去問題（春期） 15. 模擬問題								
使用教材等	基本情報技術者 午前問題集 株式会社インフォテック・サーブ 基本情報技術者 午後問題集 株式会社インフォテック・サーブ								
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	プログラム応用			担当教員	濱田 秀二	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	2年	対象学科	環境情報システム学科	コース	情報プロフェッショナルコース	履修時間	60		
実務経験	情報系企業 ネットワーク関連業務 電子制御系企業 プロセス制御部門 通信制御システム開発								
学修内容	高級プログラミング言語のJavaを使って、オブジェクト指向のコンピュータプログラミングの基礎を学ぶ。								
到達目標	Javaを使って、基本的なプログラミングできるようになることおよびオブジェクト指向プログラミングの理解を目指す。								
授業の方法	テキストを使った講義と、Javaの統合開発環境（Eclipse）を使ってプログラミング演習を行う。								
成績の評価と基準	期末の筆記試験、および出席状況を総合的に判断（筆記試験：80%・出席：20%）して評価する。								
授業計画	1. Javaプロ蔵の基本 2. 演算子 3. 配列 4. 制御構造(選択) 5. 制御構造(反復) 6. メソッド 7. オブジェクト指向とクラス定義 8. オブジェクトの生成とインスタンスの利用 9. コンストラクタ 10. アクセスレベルとパッケージ 11. 参照型の一次配列とArrayListクラス 12. クラスの拡張 13. オーバライド 14. インタフェース 15. ポリモフィズム								
使用教材等	Javaプログラミング 株式会社インフォテック・サーブ								
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	プログラム発展			担当教員	濱田 秀二	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	2年	対象学科	環境情報システム学科	コース	情報プロフェッショナルコース	履修時間	60		
実務経験	情報系企業 ネットワーク関連業務 電子制御系企業 プロセス制御部門 通信制御システム開発								
学修内容	動的Webプログラミング言語のPHPを使って、Webアプリケーション作成の基礎を学ぶ。								
到達目標	PHPを使って、データベースを使った基本的なWebプログラミングできるようになることを目指す。								
授業の方法	テキストを使った講義と、Webサーバ上でのプログラミング演習を行う。								
成績の評価と基準	筆記試験、Webアプリ作成および出席状況を総合的に判断（筆記試験：50％・作品：30％・出席：20％）して評価する。								
授業計画	1. PHPの基本知識 2. サーバとクライアントの通信 3. PHPで使えるいろいろなデータ 4. 制御文－分岐 5. 処理を繰り返す 6. 配列でデータを管理する 7. 関数を使う 8. セッションを使う 9. クラスを利用する 10. データベースと連携する 11. 便利な関数 12. ～15. Webアプリの作成								
使用教材等	3ステップでしっかり学ぶ PHP入門 技術評論社								
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	電子回路			担当教員	榎園 克寿	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	2年	対象学科	環境情報システム学科 環境情報オフィス学科			履修時間	30		
実務経験	民間放送局 子会社 技術部 放送中継基地 保守業務 補助								
学修内容	電子回路の基礎知識（部品及びアナログ・デジタル回路）を習得する。								
到達目標	1.低周波及び高周波回路の動作が理解できる。 2.テスターによる測定ができる。								
授業の方法	（講義）教科書及び解説により、回路図上の各回路・各部品の動作を理解する。 （演習）半田ごてを使用し回路を製作する事により、部品の理解と実技を身に着ける。								
成績の評価と基準	期末試験、出席状況、実習状況及び成果物を総合的に判断して評価する。								
授業計画	1. 回路部品 回路部品・工具の種類や内容を理解する。 2. テスター制作 抵抗など部品の理解、半田づけ 3. テスター制作 抵抗など部品の理解、半田づけ 4. テスター制作 抵抗など部品の理解、半田づけ 5. テスター制作 抵抗など部品の理解、動作の確認 6. 直流回路 直流・交流の違い、電源回路、単位の理解 7. 交流回路 交流回路・部品・周波数・インダクタンス 8. ラジオ回路 使用部品・真空管、動作の理解 9. ラジオ回路 電源回路・平滑回路の理解 10. ラジオ回路 検波回路・低周波増幅回路の理解 11. ラジオ回路 高周波回路・変調方式・デジタル変換 12. ラジオ回路 動作チェック・測定器の使用 13. ラジオ回路 キットの復元、高圧・解放電圧の注意 14. 照明について 光の単位について 15. 期末考査 期末試験								
使用教材等	教科書：トコトンやさしい回路設計の本 （谷腰欣司著：日刊工業新聞社）(ISBN 978-4-526-06371-8 C3034)								
履修上の留意点・他	半田ごての使用は、監督者のもとで行う。								